

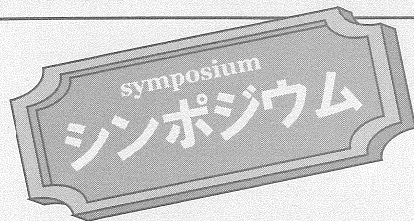
Dragon Tradition of Asia

In kyushu National Museum

参加者募集

参加費：無料
九州国立博物館文化交流展示室観覧券付

定員 200名



龍伝説

～龍は棲んでいる～

6000年前からその姿を変えながら、世界各国で語り継がれている「龍」の伝説。

なぜ龍は生まれたのか。そして、その思想は今も語り継がれているのはなぜなのか？神様としての龍からラーメンどんぶりの中の龍まで、生活の中にいる龍たち。今も残る、数々の龍の伝説や言い伝えをもとに、我々人間と「龍」の関係や、人間が「龍」に求めたものを紐解いていきます。今も私たちの中に棲んでいる「龍」への畏敬の念を込めて。

今回、様々な視点からのお話を通して、「龍」に対する夢を大きく膨らませ、人間文化の不思議と偉大さをもう一度考える場になればと考えます。

開催日時／2006年12月12日（火） 14:00～

開催場所／九州国立博物館ミュージアムホール

パネラー／味酒 安則<太宰府天満宮宝物殿(博物館)主管学芸員>

川谷 和也<テレビキャスター・映画解説者>

猪熊 兼樹<九州国立博物館・文化交流展示室研究員>



味酒 安則氏(みさけ やすのり)

1953年福岡市生まれ。78年國學院大學文学部卒業。92年に福岡女子短期大学講師。98年筑紫女学園大学講師を歴任後、03年より現職、福岡女子短期大学博物館学芸員教授に就任。太宰府天満宮 祓宣、総務統括長。福岡県立美術館協議会委員、九州国立博物館文化財保存修復施設運営委員会委員などでも活躍中。著書に「太宰府天満宮の祭-その成立と変遷-」(儀礼文化学会)「天神さまと二十五人」(太宰府天満宮文化研究所)などがある。



川谷 和也氏(かわたに かずや)

福岡市生まれ。日本大学法学部卒業。演劇集団「円」で岸田今日子らと舞台出演を重ねた後、テレビの情報番組やドキュメンタリーの司会とディレクターを福岡・大分で長年担当。熱い映画紹介の他、ライフワークのシネマコンサートは全てオリジナル企画で、「砂の器&宿命」等全国注目のステージを数多く開催。



猪熊兼樹氏(いのくま かねぎ)

1973年京都出身。関西学院大学院修士課程修了。日本美術史専攻。文化庁の技官をへて現職、九州国立博物館研究員となる。王朝時代の調度品や神室についての研究、世界的な観点でアジアの工芸品についても研究する。
趣味はミステリを読みながら夜ふかしすること。好きな言葉は「この世には不思議なことなどないのだよ」。



『エラゴン 遺志を継ぐ者』

少年はドラゴンに命を与え、ドラゴンは少年に未来を与えた。

遙か彼方の帝国アラゲイシアは、かつてエルフ、ドワーフが人間と共存する平和な土地だった。ところが今、邪悪なガルバトリックス王の圧制の下、帝国は大きな混乱の中にあつた。17歳の少年エラゴンは、ある日、森の中で光を放つ青い石を見つける。その石こそは、世界の命運を握るドラゴンの卵だった！卵からかえったメスのドラゴン、サフィラを密かに育て始めたエラゴンは、邪悪な王が放った魔物に叔父を殺され、自らの運命を悟る。彼はかつて偉大な力を持ち、国を守っていた伝説の種族、ドラゴンライダーとして選ばれたのだ。大きな使命を負い、サフィラ、語り部プロムとともに旅立ったエラゴンを襲う危機……！



©2006 TWENTIETH CENTURY FOX

12月16日（土）天神東宝他全国超拡大ロードショー

開催日時／2006年12月12日（火） 14:45～

開催場所／九州国立博物館ミュージアムホール

【申込み方法】官製ハガキ又は、FAXに必要事項(郵便番号・住所・氏名・電話番号)と「シンポジウム希望」と明記の上、下記へご送付ください。ご招待状をご郵送いたします。尚、定員を超えた場合は、抽選とさせていただきます。

【申込み先】〒810-0001 福岡市中央区天神4-6-3 (株)三広 FAX092(771)8528 <申込締切:12/5(火)必着>

【お問合せ先】TEL 092(771)8522 担当/末竹・松本

【主催】20世紀フォックス映画

【後援】九州国立博物館

【注意事項】※シンポジウムと試写会の同時参加となります。試写会のみ参加申込みは受付ておりません。

又、途中入場は如何なる理由があつてもお断り致します。

※文化交流展示室観覧券は、受付にてご招待状とお引換いたします。

※抽選の場合は、招待状の発送をもって発表にかえさせていただきます。